

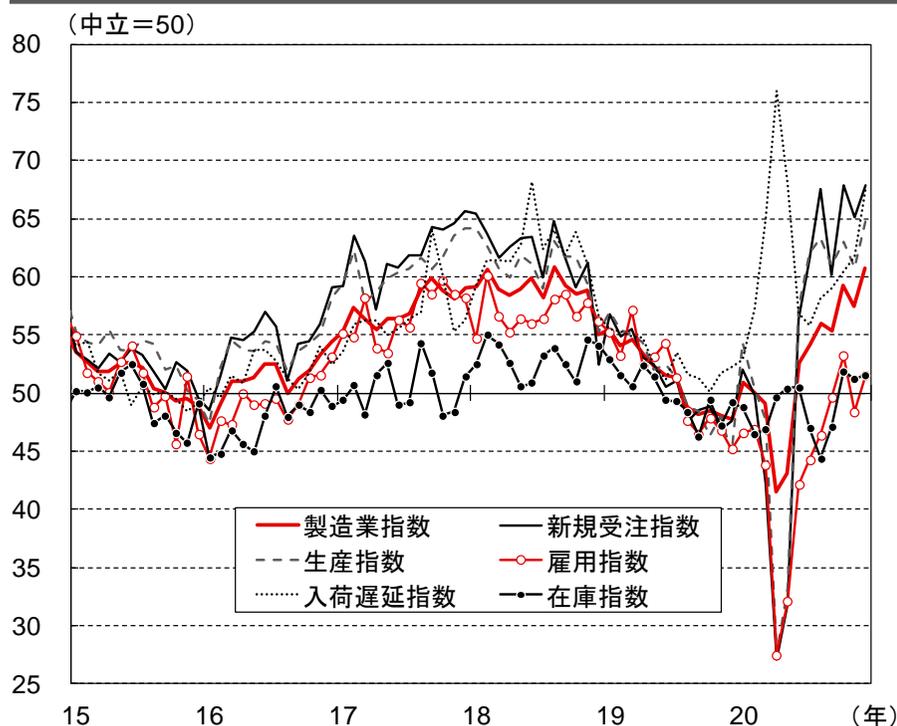
# 米国経済・金融概況 (2021年1月)

2021年1月15日  
経営企画部経済調査室(ニューヨーク)

# 1. 企業活動

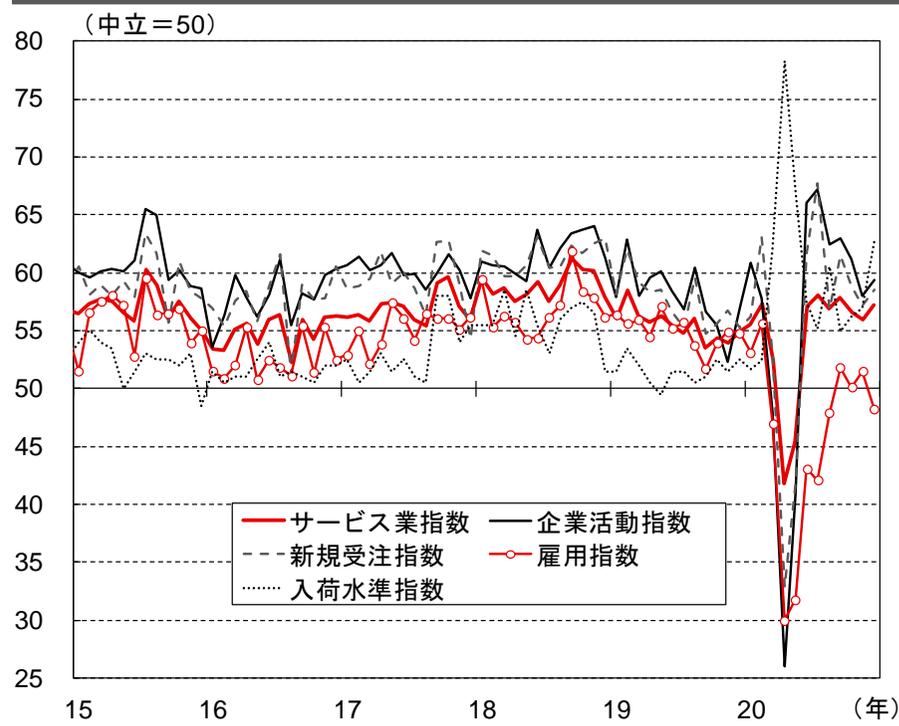
- 製造業の景況感・活動状況を表すISM製造業指数は昨年12月に60.7と、前月比+3.2上昇。指数の構成項目をみると、新規受注指数は67.9(同+2.8)、生産指数は64.8(同+4.0)、雇用指数は51.5(同+3.1)、入荷遅延指数は67.6(同+5.9)、在庫指数は51.6(同+0.4)と夫々上昇。産業別にみると、18産業のうち16産業が前月から活動の拡大を報告、2産業が縮小を報告(11月も16産業が拡大、2産業が縮小を報告)。製造業指数は高水準を記録したが、調査責任者のフィオレ氏は、新型コロナウイルス感染予防措置や人手不足が引き続き製造業の活動拡大を抑制していると述べている。
- サービス業の景況感・活動状況を表すISMサービス業指数は12月に57.2となり、前月比+1.3上昇。指数の構成項目をみると、雇用指数は48.2(同▲3.3)と低下した一方、企業活動指数は59.4(同+1.4)、新規受注指数は58.5(同+1.3)、入荷水準指数は62.8(同+5.8)と夫々上昇。産業別にみると、18産業のうち14産業が前月から活動の拡大を報告し、4産業が縮小を報告(11月も14産業が拡大、4産業が縮小を報告)。

ISM製造業指数の推移



(資料) 全米供給管理協会統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

ISMサービス業指数の推移

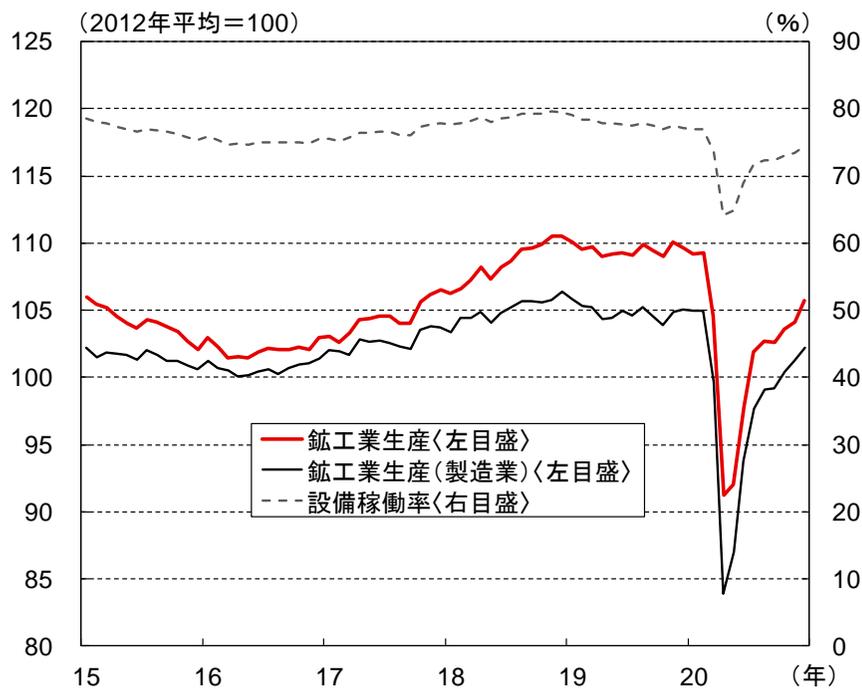


(資料) 全米供給管理協会統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

## 2. 生産

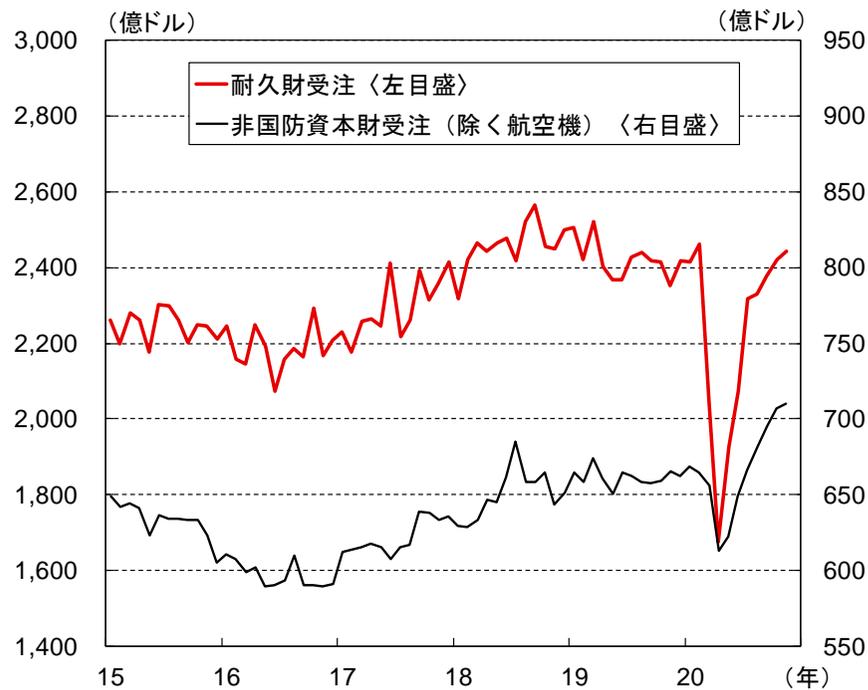
- 昨年12月の鉱工業生産は前月比+1.6%と3カ月連続で増加し、11月(同+0.5%)から増加ペースが加速。内訳をみると、「製造業」は同+0.9%、「鉱業」は同+1.6%、「公共事業」は同+6.2%と夫々増加。公共事業は温暖な気候による暖房需要の弱まりを受けて11月に同▲4.5%と減少していたが、12月は気温が例年並みに戻るなかで反発。12月の鉱工業生産はパンデミック前の昨年2月に比べると依然として▲3.3%減少した水準。12月の設備稼働率は74.5%と前月から+1.1%ポイント上昇。
- 昨年11月の耐久財受注は前月比+1.0%と、7カ月連続で増加(10月:同+1.8%)。内訳をみると、「加工金属」、「コンピュータ・電子機器」は減少し、「一次金属」、「電機・家電」は前月から増加ペースが減速した一方、「機械」、「輸送用機器」は増加ペースが加速。設備投資の先行指標とされる非国防資本財受注(除く航空機)は11月に同+0.5%と、耐久財受注と同じく7カ月連続で増加(10月:同+1.7%)。

鉱工業生産と設備稼働率の推移



(資料)FRB統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

耐久財受注の推移

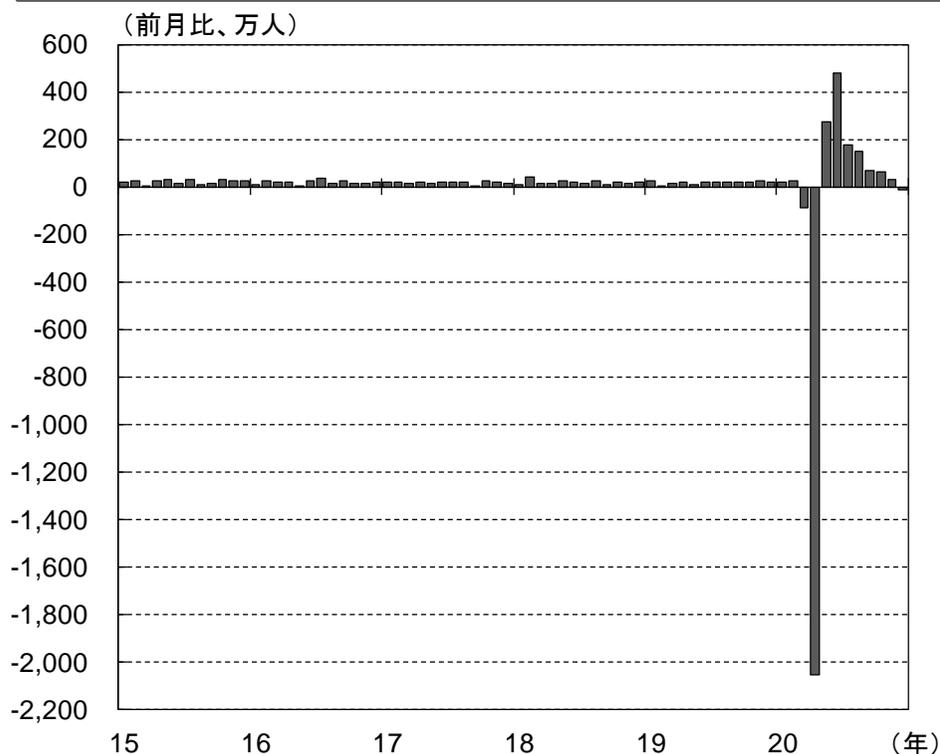


(資料)米国商務省統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

### 3. 雇用

- 昨年12月の非農業部門雇用者数は前月比▲14.0万人と8ヵ月ぶりに減少(11月:同+33.6万人)。新型コロナウイルスの感染再拡大を受けた各地での行動制限の強化が影響したとみられる。
- 業種別にみると、「専門・ビジネスサービス」(同+16.1万人)、「小売業」(同+12.1万人)、「建設業」(同+5.1万人)、「輸送・倉庫」(同+4.7万人)、「製造業」(同+3.8万人)などが増加した一方、「レジャー・飲食」(同▲49.8万人)、「政府」(同▲4.5万人)、「教育・医療・社会扶助」(同▲3.1万人)などが減少。
- 12月の失業率は6.7%、労働参加率は61.5%と夫々前月と同率であった。12月の時間当たり平均賃金(民間部門)は、前月比では+0.8%(11月:同+0.3%)、前年比では+5.1%上昇した(11月:+4.4%)。

非農業部門雇用者数の推移



(資料)米国労働省統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

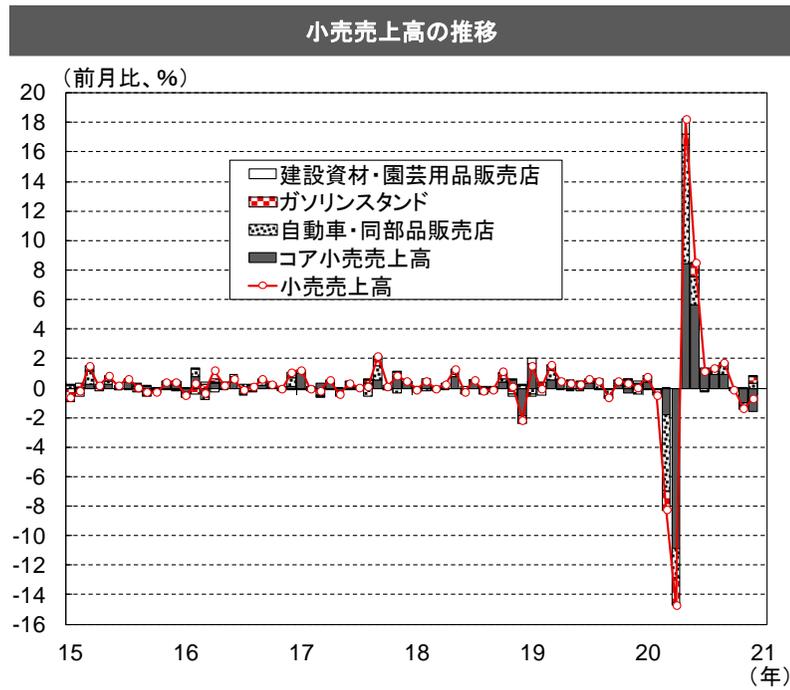
失業率の推移



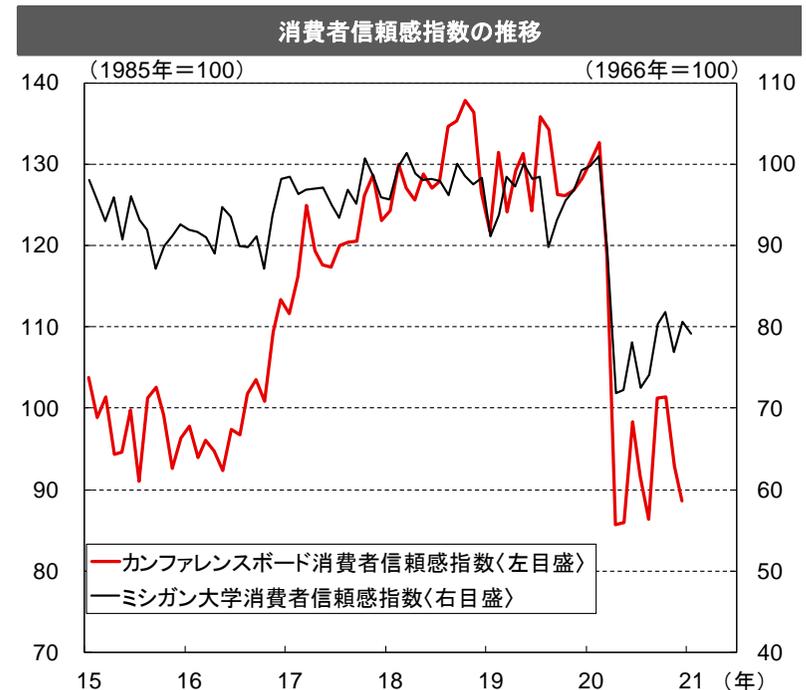
(資料)米国労働省統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

## 4. 個人消費

- 昨年12月の小売売上高は前月比▲0.7%と3ヵ月連続で減少(11月:同▲1.4%)。内訳をみると、「ガソリンスタンド」、「衣服販売店」、「自動車・同部品販売店」などが増加した一方、「無店舗小売業」、「電子機器・家電販売店」、「飲食店」などが減少。
- 12月の小売売上高は3ヵ月連続で減少したものの、パンデミック前の2月と比較すると+2.6%増加した水準。内訳をみると、「飲食店」、「電子機器・家電販売店」、「衣服販売店」などが大きく減少した一方、「無店舗小売業」、「建材・園芸用品販売店」、「自動車・同部品販売店」などは大きく増加しており、業態間の差が大きい。
- 昨年12月のカンファレンスボード消費者信頼感指数は88.6となり前月比▲4.3低下。期待指数は87.5(同+3.2)と上昇した一方、現況指数は90.3(同▲15.6)と大幅に低下。調査責任者のフランコ氏は、新型コロナウイルスの感染再拡大を低下の要因として指摘。
- 1月のミシガン大学消費者信頼感指数(速報値)は79.2となり前月比▲1.5低下。内訳をみると、現況指数は87.7(同▲2.3)、期待指数は73.8(同▲0.8)となり夫々低下。調査責任者のカーティン氏は、信頼感指数低下の要因として新型コロナウイルスの感染再拡大や不安定な政治動向(トランプ大統領の弾劾に向けた動き等)を挙げている。



(資料)米商務省統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成



(資料)カンファレンスボード、ミシガン大学統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

## 5. 住宅

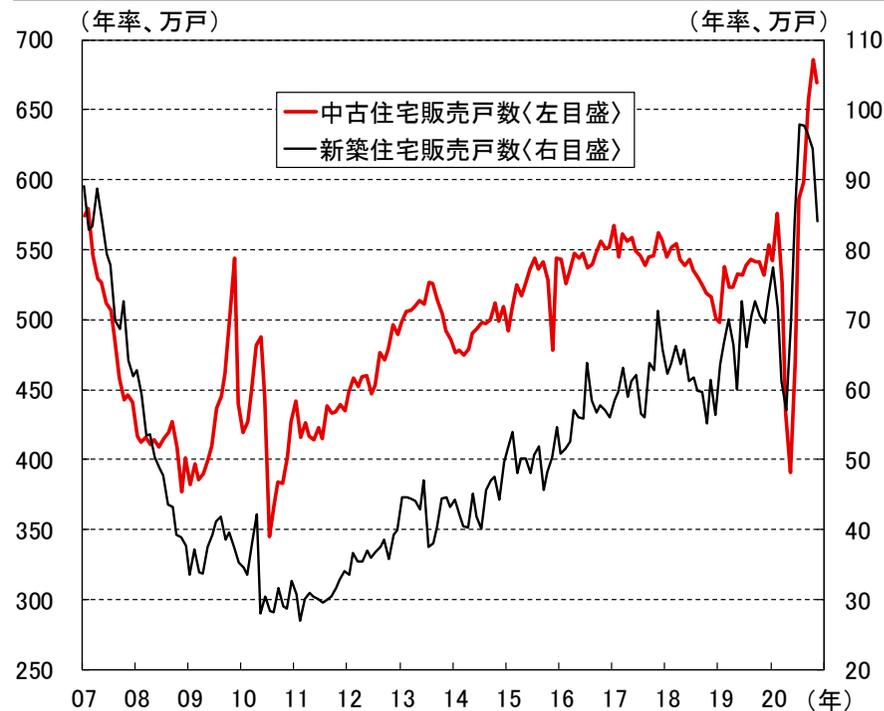
- 昨年11月の住宅着工戸数は前月比+1.2%増加して年率154.7万戸(季節調整済)と、10月(同+6.3%)から増加ペースが減速。一戸建住宅は同+0.4%増加、変動の大きい集合住宅(2世帯以上)は同+4.0%増加。着工戸数の先行指標である住宅着工許可戸数は同+5.9%の年率163.5万戸と2ヵ月ぶりに増加(10月:同▲0.1%)。
- 住宅販売について、全体の9割程度を占める中古住宅販売戸数は11月に前月比▲2.5%減少、年率669.0万戸(季節調整済)に。減少は6ヵ月ぶり。在庫率は2.3ヵ月(季節調整済)と10月(2.4ヵ月)から更に低下。販売価格(中央値)は310,800ドル(季節調整前)と前年比+14.6%上昇し、10月(同+15.5%)から上昇ペースが小幅減速。
- 新築住宅販売戸数は11月に前月比▲11.0%減少して年率84.1万戸(季節調整済)となり、10月(同▲2.1%)から減少ペースが加速。在庫率は4.1ヵ月(季節調整済)と2ヵ月連続で上昇した(10月:3.6ヵ月)。販売価格(中央値)は335,300ドル(季節調整前)と前年比+2.2%上昇し、10月(同+4.7%)から上昇ペースが減速。

住宅着工戸数と住宅着工許可戸数の推移



(資料) 米国商務省統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

住宅販売戸数の推移



(資料) 全米不動産業協会、米国商務省統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

## 6. 物価

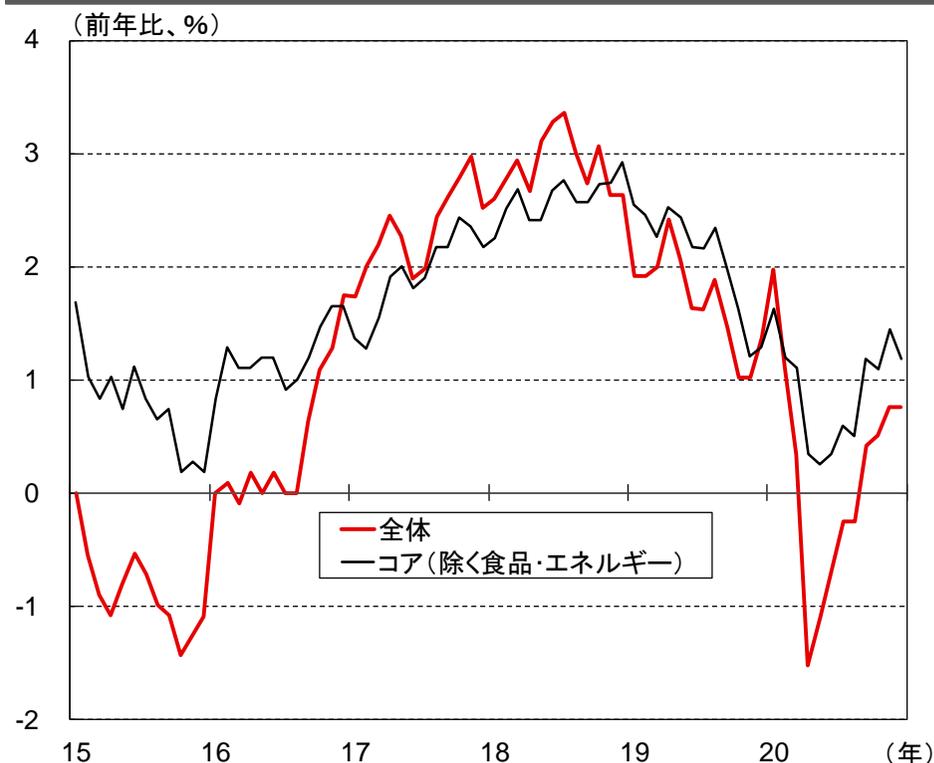
- 昨年12月の消費者物価指数は前月比+0.4%となり、11月(同+0.2%)から上昇ペースが加速。上昇ペースの加速には、「エネルギー」や「食品」が寄与。前年比ベースでは+1.4%上昇。「食品」と「エネルギー」を除いたコア消費者物価指数は前月比では+0.1%、前年比では+1.6%上昇。
- 12月の生産者物価指数は前月比+0.3%となり、11月(同+0.1%)から上昇ペースが加速。「財」は同+1.1%上昇した一方、「サービス」は同▲0.1%低下。生産者物価指数は前年比では+0.8%と、11月と同率の伸び。「財」は同+0.2%、「サービス」は同+1.1%と夫々上昇。「食品」と「エネルギー」を除いたコア生産者物価指数は前月比では+0.1%、前年比では+1.2%上昇。

消費者物価指数の推移



(資料)米国労働省統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

生産者物価指数の推移



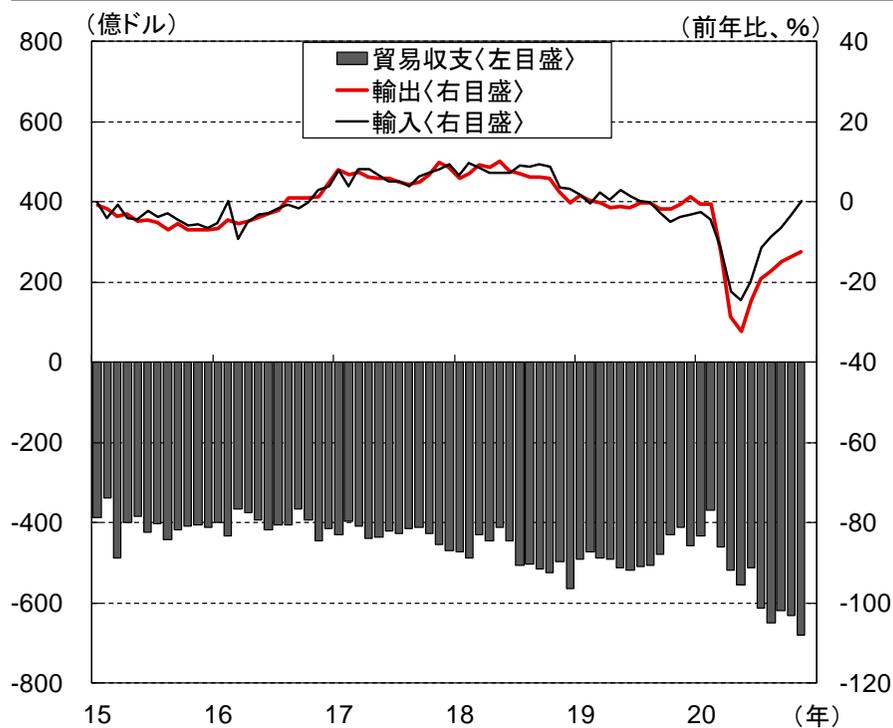
(資料)米国労働省統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

## 7. 国際収支

- 昨年11月の貿易収支(財・サービス)は 681億ドルの赤字となり、赤字幅が前月比+8.0%拡大。赤字幅は2006年8月(683億ドル)以来の高水準。財収支は864 億ドルの赤字となり、赤字幅が同+6.1%拡大、サービス収支は183 億ドルの黒字となり、黒字幅が同▲0.2%縮小。輸出は同+1.2%、輸入は同+2.9%夫々増加。
- 財の貿易収支を国・地域別にみると、米国の貿易赤字(財)の4割程度を占める中国との貿易赤字は11月に300億ドルとなり、赤字幅が前月比+13.0%(同+35億ドル)拡大。また、中国に次いで貿易赤字が多い対メキシコでは貿易赤字(財)が113億ドルとなり、赤字幅が同▲4.7%(同▲6億ドル)縮小。

(注)貿易収支は国際収支ベース。但し、国・地域別内訳は通関ベース。

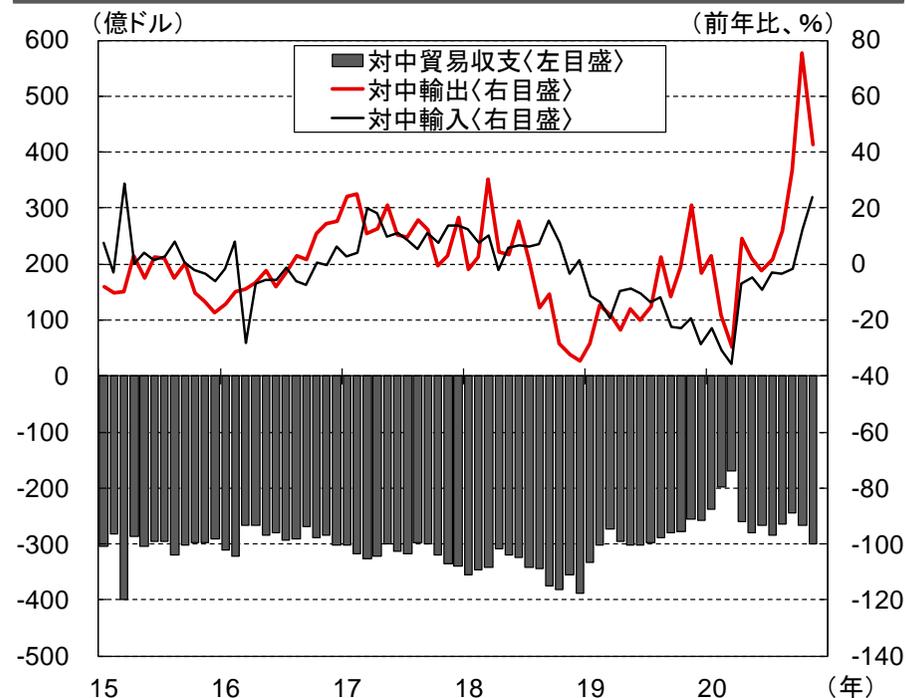
貿易収支と輸出入(財・サービス)の推移



(注)国際収支ベース。

(資料)米国商務省統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

対中貿易収支と対中輸出入(財)の推移



(注)通関ベース。

(資料)米国商務省統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

## 8. 金融市場動向

- ダウ平均株価は、昨年12月24日に英国とEUが通商協定で合意したことや、12月27日に米国で9,000億ドル規模の追加経済対策法案が成立したことなどを受けて、上昇基調を維持。
- 10年物国債利回りは、1月5日に実施されたジョージア州上院2議席の決選投票の結果、民主党が上院でも主導権を握ることとなったため拡張的な財政政策への期待が強まり、大きく上昇。

ダウ平均株価の推移



(資料) Bloombergより三菱UFJ銀行経済調査室作成

10年物国債利回りの推移



(資料) Bloombergより三菱UFJ銀行経済調査室作成

# 参考表: 主要月次経済指標の推移①

主要月次経済指標の推移												
		20年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	21年1月
企業活動・生産	ISM 製造業指数	49.1	41.5	43.1	52.6	54.2	56.0	55.4	59.3	57.5	60.7	-
	ISMサービス業指数	52.5	41.8	45.4	57.1	58.1	56.9	57.8	56.6	55.9	57.2	-
	鉱工業生産指数(2012年平均=100)	104.5	91.3	92.1	97.8	101.9	102.7	102.6	103.6	104.1	105.7	-
	前月比(%)	▲4.4	▲12.7	0.9	6.2	4.2	0.7	▲0.1	1.0	0.5	1.6	-
	設備稼働率(%)	73.6	64.2	64.8	68.9	71.8	72.3	72.3	73.0	73.4	74.5	-
	製造業受注(億ドル)	4,418	3,823	4,117	4,382	4,669	4,698	4,759	4,822	4,872	-	-
	前月比(%)	▲11.0	▲13.5	7.7	6.4	6.5	0.6	1.3	1.3	1.0	-	-
	うち耐久財受注(億ドル)	2,050	1,675	1,926	2,075	2,319	2,329	2,378	2,421	2,444	-	-
前月比(%)	▲16.7	▲18.3	15.0	7.7	11.8	0.4	2.1	1.8	1.0	-	-	
雇用・個人消費	非農業部門雇用者数(前月比、万人)	▲137.3	▲2,078.7	272.5	478.1	176.1	149.3	71.1	65.4	33.6	▲14.0	-
	時間当たり平均賃金(ドル)	28.69	30.03	29.70	29.32	29.35	29.45	29.47	29.49	29.58	29.81	-
	前年比(%)	3.4	8.0	6.6	4.9	4.6	4.6	4.7	4.4	4.4	5.1	-
	失業率(%)	4.4	14.8	13.3	11.1	10.2	8.4	7.8	6.9	6.7	6.7	-
	個人所得(年率、億ドル)	187,635	210,931	202,461	200,327	202,133	196,917	198,425	197,151	194,933	-	-
	前月比(%)	▲1.8	12.4	▲4.0	▲1.1	0.9	▲2.6	0.8	▲0.6	▲1.1	-	-
	個人消費(年率、億ドル)	138,785	121,121	131,654	140,146	142,247	143,972	145,827	146,301	145,668	-	-
	前月比(%)	▲6.7	▲12.7	8.7	6.5	1.5	1.2	1.3	0.3	▲0.4	-	-
	貯蓄率(%)	12.9	33.7	24.7	19.0	18.5	15.0	14.4	13.6	12.9	-	-
	小売売上高(億ドル)	4,839	4,128	4,882	5,300	5,359	5,434	5,528	5,522	5,446	5,409	-
	前月比(%)	▲8.2	▲14.7	18.3	8.6	1.1	1.4	1.7	▲0.1	▲1.4	▲0.7	-
	自動車販売台数(年率、万台)	1,136	872	1,211	1,302	1,463	1,511	1,630	1,636	1,564	1,627	-
前月比(%)	▲32.3	▲23.2	38.9	7.5	12.4	3.3	7.9	0.4	▲4.4	4.1	-	
消費者信頼感指数	118.8	85.7	85.9	98.3	91.7	86.3	101.3	101.4	92.9	88.6	-	
ミシガン大学消費者信頼感指数	89.1	71.8	72.3	78.1	72.5	74.1	80.4	81.8	76.9	80.7	79.2	

(資料) 各種統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

## 参考表: 主要月次経済指標の推移②

主要月次経済指標の推移												
		20年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	21年1月
住宅	住宅着工戸数(年率、万戸)	127	93	104	127	149	137	144	153	155	-	-
	前月比(%)	▲19.0	▲26.4	11.1	21.9	17.5	▲7.7	4.7	6.3	1.2	-	-
	中古住宅販売戸数(年率、万戸)	527	433	391	470	586	598	657	686	669	-	-
	前月比(%)	▲8.5	▲17.8	▲9.7	20.2	24.7	2.0	9.9	4.4	▲2.5	-	-
物価	消費者物価指数(1982~84年=100)	258.1	256.4	256.4	257.8	259.1	259.9	260.3	260.4	260.2	260.5	-
	前月比(%)	▲0.4	▲0.8	▲0.1	0.6	0.6	0.4	0.2	0.0	0.2	0.4	-
	前年比(%)	1.5	0.3	0.1	0.6	1.0	1.3	1.4	1.2	1.2	1.4	-
	生産者物価指数(2009年11月=100)	118.1	116.7	117.3	117.7	118.4	118.5	118.8	119.4	119.2	119.3	-
国際収支	輸出(財、億ドル)	1,278	957	900	1,031	1,155	1,190	1,227	1,264	1,277	-	-
	輸入(財、億ドル)	1,937	1,674	1,661	1,748	1,964	2,029	2,034	2,078	2,141	-	-
	貿易収支(財、億ドル)	▲659	▲717	▲761	▲718	▲809	▲839	▲808	▲814	▲864	-	-
	貿易収支(財・サービス、億ドル)	▲461	▲519	▲556	▲512	▲614	▲649	▲621	▲631	▲681	-	-

(注)『消費者物価指数』とその『前年比』、『生産者物価指数』とその『前年比』は季節調整前。

(資料)各種統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

---

当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。当資料は信頼できるとされる情報に基づいて作成されていますが、当部はその正確性を保証するものではありません。内容は予告なしに変更することがありますので、予めご了承下さい。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されております。全文または一部を転載する場合は出所を明記してください。

会社名 : 株式会社三菱UFJ銀行 経済調査室(ニューヨーク)  
43rd Floor, 1251 Avenue of the Americas, New York, NY 10020, USA

照会先 : 岡田 知恵 e-mail : [cokada-wighe@us.mufg.jp](mailto:cokada-wighe@us.mufg.jp)